



国際共生社会研究センター

Center for Sustainable Development Studies

オープンリサーチセンター

三年目を迎える東洋大学国際共生社会研究センター (オープン・リサーチ・センター) の活動について

東洋大学国際共生社会研究センター (オープン・リサーチ・センター) 長
東洋大学大学院国際地域学研究科委員長 松尾 友矩

平成13年11月、東洋大学大学院国際地域学研究科にオープン・リサーチ・センターが開設 (期間5年を予定) されました。オープン・リサーチ・センターは、文部科学省による私立大学学術研究高度化推進事業によるもので、学内外の幅広い人材を受け入れるとともに、研究成果等を広く公開するなど、オープンな体制の下に、先導的・独創的な研究と高度な人材の養成とを一体的に行うプロジェクト (本センターでは下記の3つのプロジェクトを提案しています) の実施を、総合的かつ重点的に支援を行うものとされています。東洋大学では、オープン・リサーチ・センターの活動を総称する意味でセンターに固有の名称を与えていますが、本センターは「東洋大学国際共生社会研究センター」の名称を冠しています。

「国際共生社会」の意味として、「環境との共生を果たせる社会を国際的に求める」という内容をイメージしていましたが、国際シンポジウムや国際ワークショップでの経験、国際社会の全体状況への考慮からは、民族的共生、宗教的共生、の概念も非常に重要であるという認

識を持つようになってきています。平成15年度の国際シンポジウムの課題は「貧困」ですが、これは昨年9月のヨハネスブルグ・サミットでも課題とされた大きなテーマと考えています。

オープン・リサーチ・センターの活動は3年目に入りますが、新たな気持ちで、国際社会が必要とする「共生」の内容に立ち入り、「共生」の実現手段についての研究を進めていきたいと考えています。3つのプロジェクトは次テーマを掲げそれぞれ活動を進めています。

- ①アジア大都市圏地域を対象とした定住環境の形成・整備
- ②環境共生社会論の体系化
- ③地域開発データベースと計画作成・評価支援シミュレータの開発・整備



国際シンポジウム 貧困の削減戦略～現在と将来～

日時：2003年7月4日(金)12:30開場

会場：井上記念館 井上円了ホール

(東京都文京区白山5-28-20 東洋大学白山キャンパス内)

挨拶 (学長他) (13:00~13:30)
 基調講演 (13:30~16:00)
 パネルディスカッション (16:25~17:30)
 レセプション (18:00~)

入場無料
 使用言語：日本語と英語の同時通訳

お申込
 事務局宛てE-mailに、お名前、御所属、お電話番号、御出席 (シンポジウム・レセプション) を添えてお申し込みください。
 E-mail: orc@itakura.toyo.ac.jp

■ 講演者及び演題

大森功一・佐々木仁美 世界銀行 広報担当官
「世界銀行と貧困削減」

富本幾文 国際協力事業団 企画・評価部次長
「貧困削減とJICAの貢献」

熊岡路矢 日本国際ボランティアセンター (JVC) 代表理事
「貧困削減とNGOの役割—カンボジアのケース—」

Md.Azahar Ali PRAMANIC
Manager, Field Operation of NGO Forum for
Drinking Water Supply and Sanitation, Bangladesh
「貧困削減における水と衛生分野の貢献
—バングラデシュにおけるローカルNGOの役割—」

坂元浩一 東洋大学国際共生社会研究センター
「貧困削減戦略と日本の貢献」

* 講演者、演題は変更の可能性があります。(6ページに関連記事)